

2003年8月13日

大阪市長
磯村隆文様

旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会
代表 小田康徳
(大阪電気通信大学工学部教授)

要望書

- 1、旧真田山陸軍墓地内にある納骨堂の完全な修復・保存に向けて、至急市としての調査を実施していただきたい。
- 2、旧真田山陸軍墓地にある墓石の保存について専門的な検討会を設置していただきたい。
- 3、戦争遺跡としての旧真田山陸軍墓地の保存体制のあり方について市としての基本的な方針を確立していただきたい。

なお、上記に対するご回答は今年 月末日までを目処に賜りたい。

大阪市天王寺区に今も落ち着いたたたずまいをみせる旧真田山陸軍墓地は、旧陸軍がその草創期、軍に不可欠の施設として日本で最初に設置した陸軍の埋葬地です。そこには明治6年徴兵令より早い時期から大阪に集められ訓練中亡くなった将兵等の墓碑をはじめ、西南戦争・日清戦争・日露戦争などにおける戦病没者等の個人墓碑、日露戦争・満州事変に関係する合葬墓、日中戦争以後の戦病没者に関わる納骨堂、あるいはまた、俘虜となって死亡した外国人の墓碑、在営中死亡した将兵、日清戦争とそれに引き続く台湾領有の戦闘に関係して死亡した軍役夫等の個人墓碑などが建ち並んでいます。

墓碑等の配置、その形状、あるいは墓碑に彫り込まれた碑文等を通して軍の姿、それと関係した国民の姿、戦争のことなど、さまざまなことが見えてきます。この旧真田山陸軍墓地は、戦後現在に至るまで国から無償貸与を受けて維持管理に当たってきた大阪市当局や、その祭祀を担当してきた財団法人大阪靖国霊場維持会、あるいはまた地域住民等の不断の努力によって戦前の姿をよく今日に残し、全国的にも他の多くの旧陸軍墓地が旧状を失いつつある中で、その歴史を現在及び将来に伝える貴重な歴史遺産であり、わが国第一級の戦争

遺跡として史跡に該当するものです。

また、大阪の歴史からこれを見れば、ご承知のように、大阪は戦前陸軍第四師団が置かれ、砲兵工廠が威容を示すなど、軍事と強く結びついてその歴史をつむいできた大都市です。この大阪にそうした施設がほとんど姿を消した現在、旧真田山陸軍墓地は、戦前大阪の歴史的ありようを目の当たりに知ることのできる数少ない生きた遺跡ともなっているものです。この墓地はいま憩いの場として市民に親しまれ、また関係する遺族等のお参りが絶えません。

ところが、現在、この旧真田山陸軍墓地にある個人墓碑の多くは、建碑以降長い年月の経過する中で風化や表面の剥落・崩壊がすすみ、その存続はきわめて危機的な様相を深めています。また、納骨堂も建設以来60年が経過する中で、傷みが激しくなっています。ちなみに、過日納骨堂を専門的な立場から実地調査された京都大学工学部教授西澤英和氏は、「当該納骨堂は屋根面を中心に保存修理を決断すべき時期に差し掛かっている」「より具体的修理計画を検討するため、構造の実測調査、損傷の詳細調査の早急な実施を強く要望される」と述べられています（鑑定書添付）。

わが会は、この墓地のこうした状況を踏まえ、この墓地の歴史的意義を多くの市民の方々とともに考える中で、この墓地の保存を広く訴えてきました。過去7回にわたる見学と研究会には毎回多くの研究者や市民の方が参加され、また、新聞・ラジオなどでも広く取り上げられるにいたっています。

わが会では、国や大阪府・大阪市当局にも昨年6月14日付けで要望書を出し、この墓地所在の墓碑・納骨堂の修復と、墓地の史跡・文化財としての指定を求めました（別紙）。それは、まさしくこの墓地の歴史的意義と保存の緊急性を考えたからにほかなりません。残念ながら、この要望書については今もっていずれからも正式のご回答を得ておりませんが、おそらくはいまもそれぞれのご担当において種々ご検討を重ねておられることと推察しております。

ただ、われわれが心配しておりますことは、このように荏然と日を送る中にも墓碑や納骨堂の傷みは日々広がり、その保全がいよいよ予断を許さなくなるということでもあります。文化財としての指定は別としても、その保存は緊急の課題となっています。傷みの進行状況をきちんと把握し、緊急度の高いものからきちんとした対策を講じていかねばなりません。

幸い大阪市当局におかれては、この墓地を国から無償貸与された条件として、善良な管理者としての注意をもって維持保全につとめなければならないとの契約を結ばれていると聞いています。今回われわれは、貴市に対し改めて上記諸点の実現を求め、その保全修復に向けて一步を踏み出し、また併せて、戦争遺跡としての保存体制のあり方を明確にされることを強く願うものであります。なにとぞわれわれの意のあるところをお汲み取りいただき、早期の処置をお願い申し上げます。

なお、また、上記三点の実施に当たっては、当会としても応分の協力を行う用意があることを付記しておきます。

以上